

千葉市荒屋敷貝塚探集資料の紹介(1)

森本 隆

はじめに

2003(平成15)年7月、千葉市荒屋敷貝塚で探集された資料が、加曾利貝塚博物館へ寄贈された。資料の大半は縄文時代中期の土器片で、複数の人骨も含まれていた。人骨については以前の記載でその詳細について報告がなされており(1)、今回は土器資料の一部を紹介したい。

1 資料の来歴

紹介する資料は、千葉市若葉区貝塚町に所在する国指定史跡の荒屋敷貝塚で探集されたもので、寄贈者である荒木ヨシ氏が1949(昭和24)年、1960(昭和25)年に探集した資料が中心を占める。探集地点は貝塚の北東部に位置する個人住宅の庭先で、古くから貝塚の一部が削平されていた場所である。崖面に露出していた貝塚の中に入骨が確認されたため、各年1体分ずつ収集し、土器資料もその際に探集したことである。その後、荒木氏が自身で分類・保管されてきたが、2003(平成15)年7月に当館へ寄贈されることとなった。

別の時期に探集されたものや他人から受け取った資料も一部含まれているが、荒屋敷貝塚の特徴をよく示しており、探集地点や当時の状況もおおよそ把握できている。人骨の帰属時期を考える材料としても重要である。

2 収納ケース

荒木氏より寄贈された際、土器資料は木製のケース12個に分けて収納されていた(第1図)。このケースはいわゆる車上型のカードケースで、図書館で書誌情報を記した目録カードを分類・収納する際などに用いられるものである。幅19cm、高さ15cm、奥行45cmで、引出の前面にはD型の引手金具が付く。

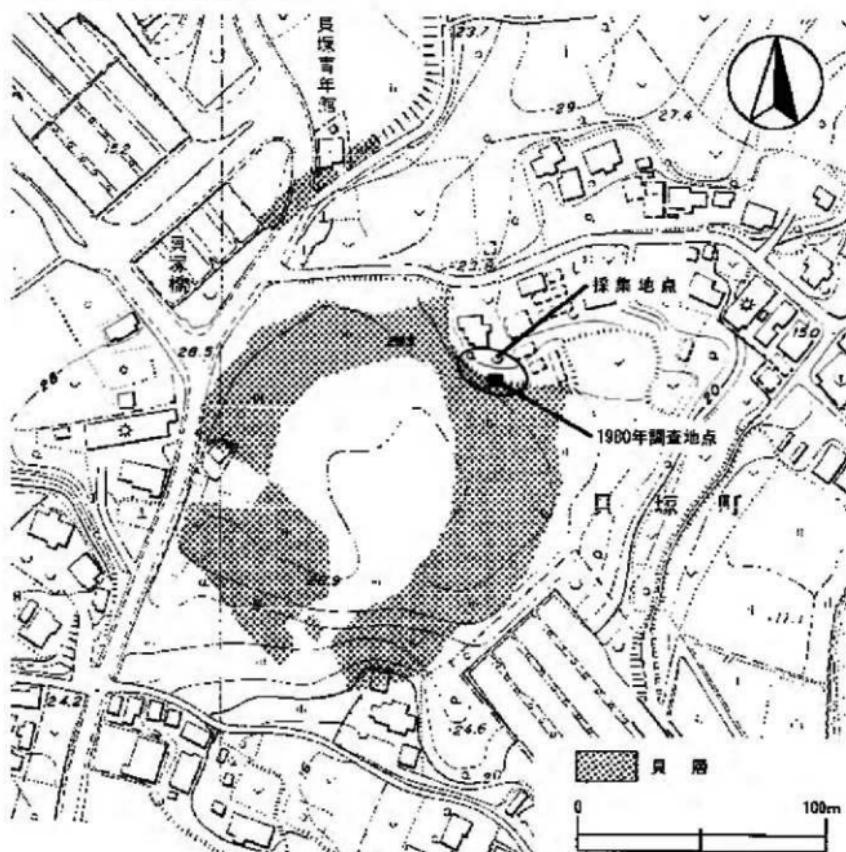
荒木氏によると、このケースは資料を探集した頃、当時東京大学理学部人類学教室に身を置いていた山内清男氏から土器片の収納用に便利だともらったとのことである。完形品や接合・復元した土器を収納するには不便であるが、破片資料を一定の基準に従って分類・収納し、標本として常に活用していくような利用方法に適した形状をしている。山内氏もこのようなケースを破片資料の収納に利用していたのであろうが、縄文土器断年の確立に向けて資料を手元に置いておくことを優先し、常に比較しながら研究を継続していった研究姿勢を伺うことができ、ケース自体にも学史的な価値があるといえよう。



第1図 資料が収納されていた木製ケース

3 資料の概要

寄贈資料のうち、縄文土器片は246点を数える。時期は縄文時代中期のものが大半を占め、阿玉台Ib式から加曾率田III式までにほぼ収まる。とくに阿玉台IV式・中村式の資料が充実しており、この時期の貝層から集中的に採集した可能性が高い。採集時の選別もあるのだろうが、副部片に比べて、口縁部のものが多く、とくに浅鉢の比率が高い傾向が伺える。割れ口が比較的新しいに接合しない資料も多く、これらは土中から引き抜くように採集したと考えられ、接合する土器片が現地に残存している可能性が高い。採集地点に極めて近い場所で実施された1980年(昭和55年)の緊急調査でも阿玉台III式や阿玉台IV式・中村式を主体とする貝層が確認されており⁽²⁾、採集地点付近の貝層からこの時期の土器片が多く出土することは間違いない。他に後期の土器片や近世の塔塔の破片、少量の貝殻、自然殻などが含まれる。



第2図 貝塚と採集地点の位置

当館では収納するにあたり、新たに水洗・注記を行い、プラスチック製のコンテナケースに移し換えた。その際、寄贈時の収納状態に復元できるよう当初の収納ケースに任意に1から12までの番号をつけ、荒屋敷貝塚の略号ARと合わせて「AR-’50-1」のように白色のポスターカラーでそれぞれの土器片に注記した。

今号では、縄文土器片246点のうち、時期や型式の判別が可能な170点について、写真と土器観察表を掲載した(第3図～第8図、第1表～第6表)。実測図および拓影は次号に掲載する予定である。

(千葉市立加曾利貝塚博物館)

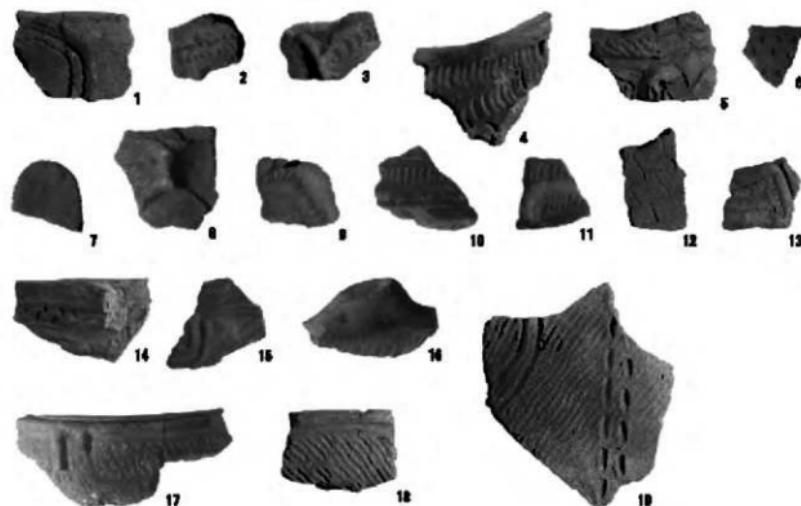
註

- (1)2体分の人骨として採集されたが、報告(久保大輔・諫訪元 2008)で、少なくとも成人5体、子供1体分の人骨であったことが確認されている。
(2)崖面に人骨が露出していたため、人骨の採集と貝層の調査をおこなった。調査は当館が担当し、出土資料・記録類も当館で保存している。未報告であるが、奈良忠寿氏による出土土器の資料紹介(奈良1999)の中で、貝層下部の堆積状況について触れられている。

引用・参考文献

- 久保大輔・諫訪元 2008 「加曾利貝塚博物館所蔵、荒屋敷貝塚ならびに緑町小学校古人骨の保存状況」『貝塚博物館紀要』第35号
千葉市立加曾利貝塚博物館
- 下総考古学研究会 1976 「特集 中津式土器の研究」『下総考古学』6
- 下総考古学研究会 1985 「特集 藤坂式土器の研究」『下総考古学』8
- 下総考古学研究会 1998 「特集 中津式土器の再検討」『下総考古学』15
- 下総考古学研究会 2004 「特集 戸総半島における勝坂式土器の研究」『下総考古学』18
- 谷井龍ほか 1982 「縄文中期土器群の再編」『研究紀要』1982 財團法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団
- 千葉縄文研究会編 2007 『千葉における中期縄年基礎資料 土器集成1』千葉縄文研究別冊1
- 奈良 忠寿 1999 「荒屋敷貝塚出土の縄文時代中湖土器について」『貝塚博物館紀要』第26号 千葉市立加曾利貝塚博物館
- 西村 正衛 1984 「阿玉台式土器の編年」『石器時代における利根川下流域の研究—貝塚を中心として—』早稲田大学出版部

AR-150-1



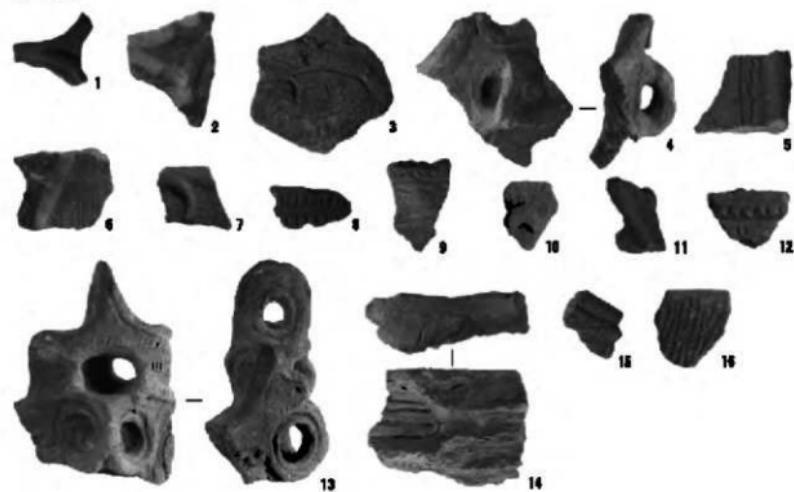
AR-150-2



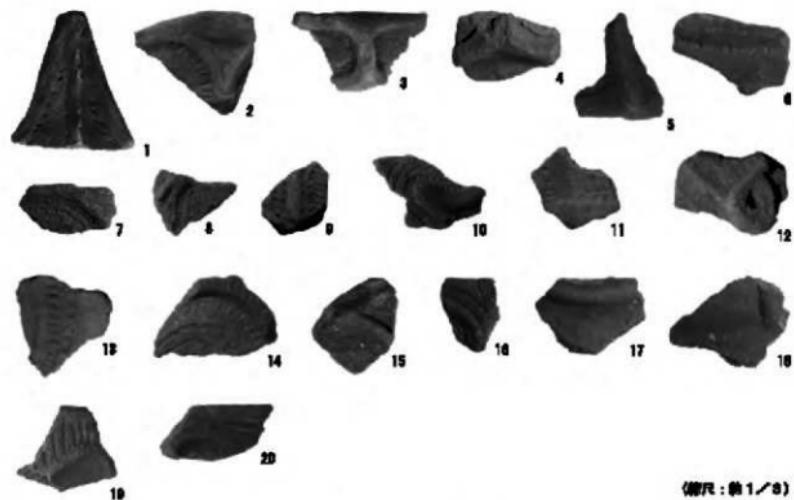
(縮尺：約 1/3)

第3圖 採集土器（1）

AR'-50-3



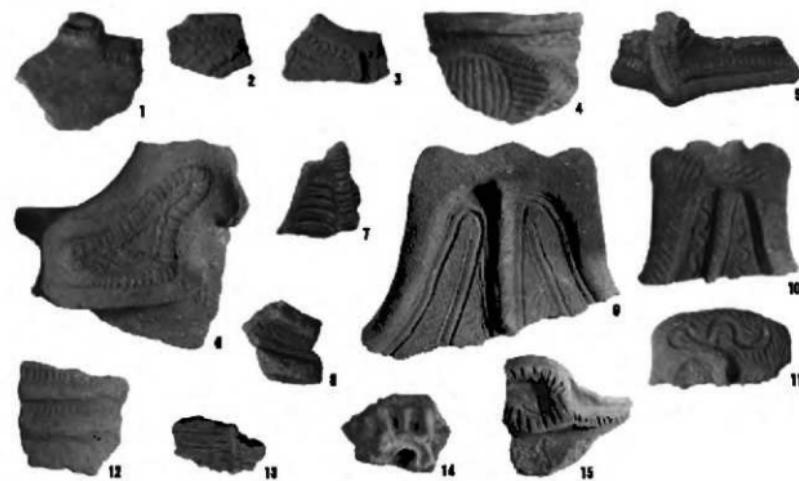
AR'-50-4



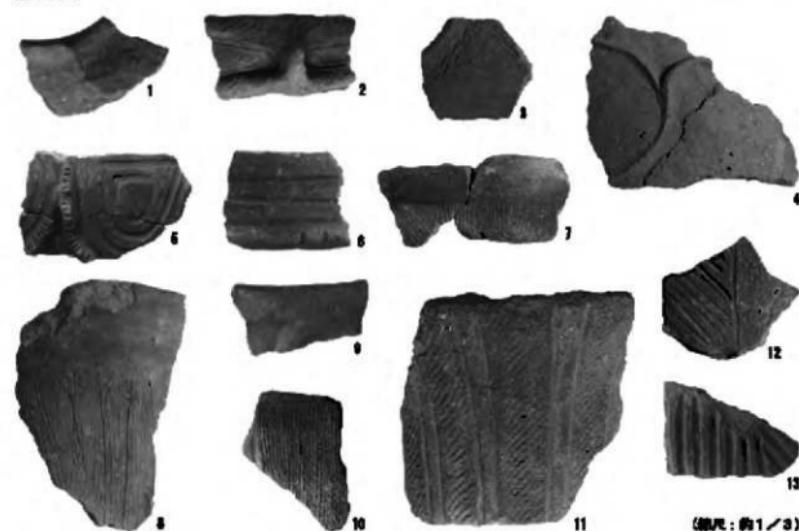
(縮尺：約1/8)

第4図 掘出土器(2)

AR'-50-5



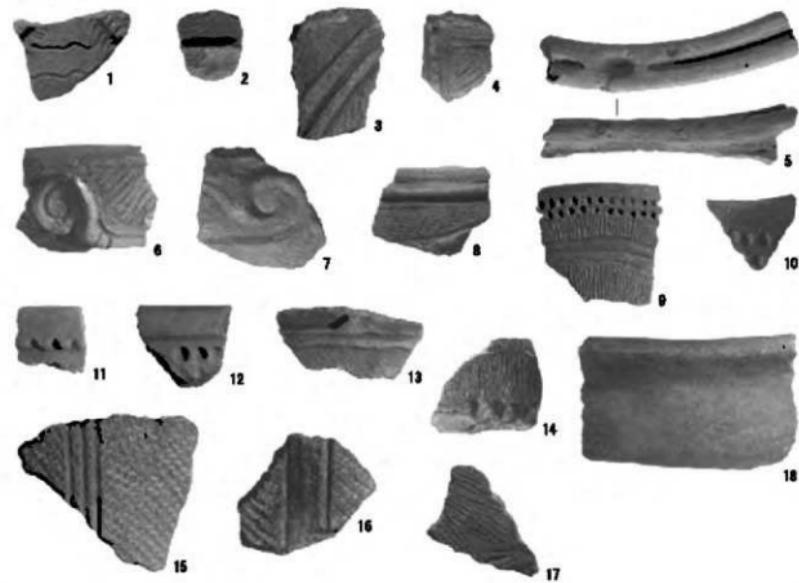
AR'-50-6



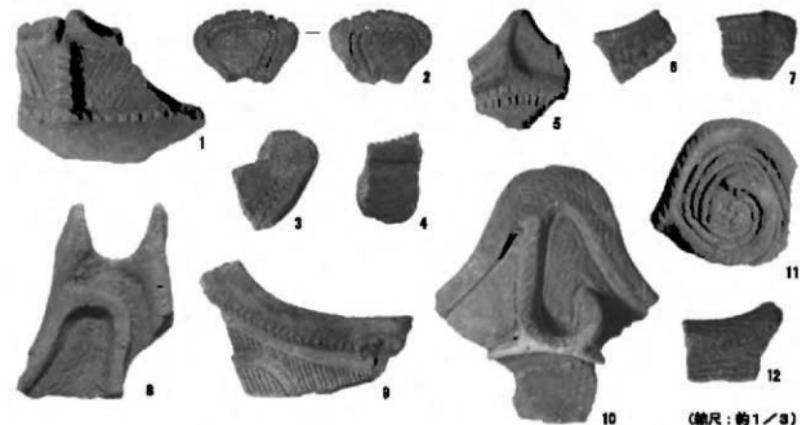
(縮尺: 約1/3)

第5圖 採集土層 (3)

AR'-50-7



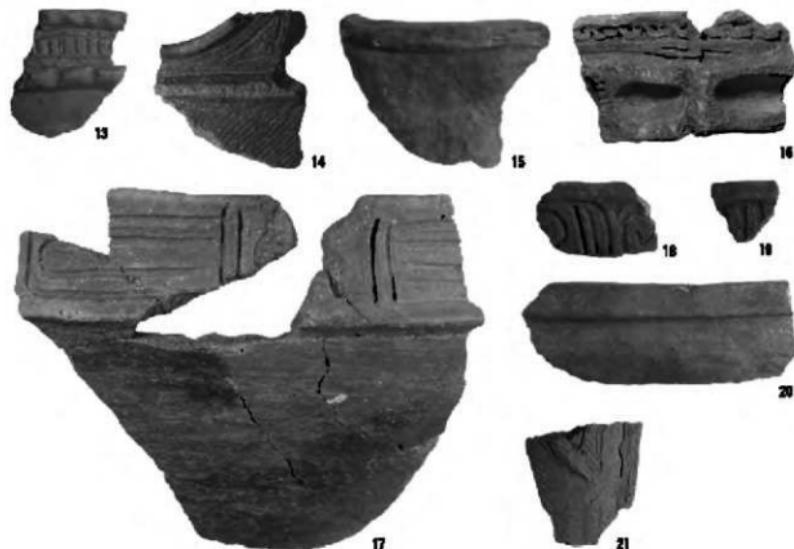
AR'-50-8



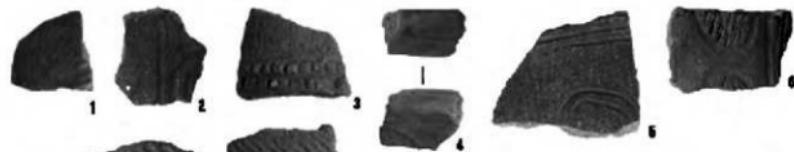
(縮尺:約1/2)

第6図 採集土器(4)

AR-’50-8



AR-’50-9



AR-’50-10



第 7 図 採集土器 (5)

AR'-50-10



AR'-50-11



AR'-50-12



(縮尺：約1/2)

第8図 採集土器(6)

第1表 土器観察表(1)

監査番号	注記番号	判別	部位	文様の基文工種の組合	跡士	型式	備考
第3回	AR-50-1 1	深鉢	口縁部 (平縁)	施墨點付→施墨に沿って2列の角押文	施母、砂粒を含む。	阿玉台口式	注記(=A)見出量
第3回	AR-50-1 2	深鉢	口縁部 (波状口縁)	口縁に沿って2列の角押文	施母、砂粒を含む。	阿玉台口式	注記(=A)見出量
第3回	AR-50-1 3	深鉢	口縁部 (波状口縁)	施墨點付→施墨に沿って2列の角押文	施母、砂粒を含めて多く含む。	阿玉台口式	注記(=A)見出量
第3回	AR-50-1 4	深鉢	口縁部 (波状口縁)	施墨點付→施墨と口縁部底面内に大原爪文	施母、砂粒を含む。	阿玉台口式	注記(=A)見出量
第3回	AR-50-1 5	深鉢	口縁部 (波状口縁)	施墨點付→施墨と口縁部底面内に大原爪文	施母、砂粒を含む。	阿玉台口式	注記(=A)見出量
第3回	AR-50-1 6	深鉢	口縁部 (波状口縁)	施墨の施母點付→施墨と、施墨上に角押文	施母、砂粒を含む。	阿玉台口式	注記(=A)見出量
第3回	AR-50-1 7	深鉢 (巴手)	口縁部 (巴手)	セバク形の施母點付→施墨と、施墨上に角押文	施母、砂粒を含む。	阿玉台口式	注記(=A)見出量
第3回	AR-50-1 8	深鉢	口縁部 (平縁)	施墨の施母點付→施墨と、施墨上に角押文	施母、砂粒を多く含む。	阿玉台口式	注記(=A)見出量 25.9.23 ①
第3回	AR-50-1 9	深鉢	口縁部 (波状)	施墨點付→施墨に沿って爪形文、区画内に波線	施母、砂粒を多く含む。	阿玉台口式	注記(=A)見出量
第3回	AR-50-1 10	深鉢	口縁部 (波状)	施墨點付→施墨に沿って爪形文、区画内に波線	施母、砂粒を少量化。	阿玉台口式	
第3回	AR-50-1 11	深鉢	口縁部 (波状)	施墨點付→施墨に沿って爪形文	施母、砂粒を少量化。	阿玉台口式	
第3回	AR-50-1 12	深鉢	口縁部 (波状)	施墨LR→波状波線を下	施母、砂粒を含む。	阿玉台口式	
第3回	AR-50-1 13	深鉢	口縁部 (波状)	施墨による三角区画→区画内に半形文、波線による三叉文	施母、砂粒を多く含む。	施母式	注記(=A)見出量
第3回	AR-50-1 14	深鉢	口縁部 (平縁)	施墨點付→口縁に沿って交叉斜文	施母、砂粒を少量化。	中筋式	注記(=A)見出量
第3回	AR-50-1 15	浅鉢	口縁部 (平縁)	2本1筋の施墨によるクランク文、浪書き文、口縁に小突起	施母を含む。砂粒を多く含む。	加曾利口式	
第3回	AR-50-1 16	深鉢	口縁部 (波状)	施墨、施母點付→口縁上に複数枚の筋から→異文RL	施母を少量化。砂粒を含む。	加曾利口式	注記(=A)見出量
第3回	AR-50-1 17	深鉢	口縁部 (平縁)	異文RLによる矩形区画→施墨帯に比照→2本1筋の施墨が並ぶ。	砂粒を含む。	加曾利口式	注記(=A)見出量
第3回	AR-50-1 18	深鉢	口縁部 (平縁)	異文RL→口縁に沿って波紋	施母、砂粒を少量化。	加曾利口式	注記(=A)見出量
第3回	AR-50-1 19	深鉢	口縁部 (波状)	異文RL→2本1筋の波線状の化織、長状の波線	砂粒を含む。砂粒を多く含む。	加曾利口式	注記(=A)見出量 25.9.23 注記(=A)見出量
第3回	AR-50-2 1	深鉢	口縁部 (波状口縁)	口縁に沿って織紋状に角押文を模	施母、砂粒を含む。	阿玉台口式	
第3回	AR-50-2 2	深鉢	口縁部 (平縁)	施墨點付→施墨上RL異文→区画内に波線	砂粒を含む。砂粒を多く含む。	阿玉台口式	AR-50-2-2-2同一個体
第3回	AR-50-2 3	深鉢	口縁部 (平縁)	施墨點付→施墨上、零售RL異文→区画内に波線	砂粒を含む。砂粒を多く含む。	阿玉台口式	AR-50-2-2-3同一個体
第3回	AR-50-2 4	深鉢	口縁部 (平縁)	口縁外側に底面の施墨點付→純文RL	施母、砂粒を含む。	阿玉台口式	
第3回	AR-50-2 5	深鉢	口縁部 (平縁)	施墨、施母點付→ロ織部底面内、施墨上に波線、尖点上面に波線による施墨と施母上から新御に異文RL	砂粒を少量化。砂粒を多く含む。	中筋式	注記(=A)見出量
第3回	AR-50-2 6	深鉢	口縁部 (平縁)	異文RL→基文上に区画→施墨に沿って波紋	砂粒を少量化。	加曾利口式	注記(=A)見出量
第3回	AR-50-2 7	深鉢	口縁部 (平縁)	施墨による区画→区画内にT字1筋の波状波線	施母を含む。砂粒を多く含む。	阿玉台口式	注記(=A)見出量
第3回	AR-50-2 8	深鉢	口縁部 (平縁)	施墨と波紋による浪書き文	施母、砂粒を少量化。	加曾利口式	注記(=A)見出量 25.9.23
第3回	AR-50-2 9	深鉢	口縁部 (波状口縁)	異文RL→施墨と波紋による浪書き文	砂粒を少量化。砂粒を含む。	加曾利口式	
第3回	AR-50-2 10	深鉢	口縁部 (平縁)	異文RL→施墨による区画(斜帶)	砂粒を含む。	加曾利口式	
第3回	AR-50-2 11	深鉢	口縁部 (平縁)	異文RL→施墨による区画(斜帶)	砂粒を含む。	加曾利口式	

第2表 土器観察表(2)

採取番号	注記番号	種別	器 位	文様の変遷と工数の推移	胎土	形 式	備 考
第3回	AR-50-2 12	灰陶	口縁部 (平 縫)	周文LR→馬蹄による区画→馬蹄に沿って波線	黒帶を少量含む。少粒を含む。	加賀利口式	
第3回	AR-50-2 13	灰陶	口縁部 (平 縫)	周文LR→馬蹄による区画→馬蹄に沿って波線	黒帶を少量含む。少粒を含む。	加賀利口式	注記番号18.23.
第3回	AR-50-2 14	灰陶	口縁部 (平 縫)	周文LR→口縁に沿って波線	黒帶、少粒を含む。	加賀利口式	
第3回	AR-50-2 15	灰陶	口縁部 (平 縫)	口縁に沿って交叉刃突→馬蹄→2本1組の波状紋を重ね下	黒帶を少量含む。少粒を含む。	加賀利口式	
第3回	AR-50-2 16	灰陶	口縁部 (平 縫)	馬蹄駆け→区画内に3条の波線、中央は波線状	黒帶、少粒を少量含む。	中津式→ 加賀利口式	
第3回	AR-50-2 17	灰陶	肩 部	周文LR→馬蹄駆け→馬蹄に沿って波線→波状紋を重ね下	黒帶を少量含む。少粒を含む。	逆張文	
第4回	AR-50-3 1	灰陶	口縁部 (波状口縫)	馬蹄駆け→馬蹄に沿って2列の有筋波線	黒帶、少粒を含む。	阿云台口式	
第4回	AR-50-3 2	灰陶	口縁部 (波状口縫)	馬蹄駆け→馬蹄に沿って波形文、馬蹄上の一帯に刻目	黒帶、少粒を含む。	阿云台口式	注記「AR-50-4-2と同一体」
第4回	AR-50-3 3	灰陶	口縁部 (波状口縫)	馬蹄駆け→馬蹄上、区画内に周文LR→馬蹄に沿って波線	黒帶、少粒を多く含む。	阿云台口式	注記「AR-50-4と同一體」
第4回	AR-50-3 4	灰陶	口縁部 (波状口縫)	馬蹄駆け→馬蹄下に円孔、馬蹄把手	黒帶を少量含む。少粒を多く含む。	阿云台口式	注記「AR-50-4と同一體」
第4回	AR-50-3 5	灰陶	肩 部	馬蹄駆け→馬蹄に沿って波形文→区画内に波線、波状紋	黒帶、少粒を含む。	阿云台口式	注記「AR-50-6と同一體」
第4回	AR-50-3 6	灰陶	肩 部	馬蹄駆け→馬蹄に沿って波形文→区画内に朱墨を充填→区 画内に波線、波状紋	黒帶、少粒を含む。	阿云台口式	
第4回	AR-50-3 7	灰陶	口縁部	馬蹄駆け→馬蹄に沿って波形文→区画内に波線	黒帶、少粒を含む。	阿云台口式	注記「AR-50-6と同一體」
第4回	AR-50-3 8	灰陶	肩 部	馬蹄駆け→馬蹄に沿って波形文	黒帶、少粒を含む。	阿云台口式	
第4回	AR-50-3 9	灰陶	肩 部	馬蹄駆け→馬蹄に沿って波形文、区画内に朱墨を充填→区 画内に波線、波状紋	黒帶、少粒を含む。	阿云台口式	注記「AR-50-6と同一體」
第4回	AR-50-3 10	灰陶	口縁部	馬蹄駆け→馬蹄に沿って波形文→区画内に朱墨を充填	黒帶、少粒を含む。	阿云台口式	注記「AR-50-6と同一體」
第4回	AR-50-3 11	灰陶	肩 部	馬蹄駆け→馬蹄に沿って波形文	黒帶を少量含む。少粒を多く含む。	阿云台口式	注記「AR-50-6と同一體」
第4回	AR-50-3 12	灰陶	肩 部	馬蹄駆け→馬蹄に沿って波線、馬蹄上に刻文	黒帶、少粒を少量含む。	阿云台口式	
第4回	AR-50-3 13	灰陶	口縁部 (平 縫)	黒帯吹手、馬蹄把手を組合せた3段の大形把手で、波 線、肩上に刻目。手柄は馬蹄上に沿って交互羽翼	黒帶を少量含む。少粒を含む。	摩内口式	注記「AR-50-6と同一體」
第4回	AR-50-3 14	灰陶	口縁部 (平 縫)	馬蹄駆け→口縫に沿って波形文→区画内に3条の波線に沿 て馬蹄に沿る巻き文。文様帶下部に斜向する馬蹄下部、馬蹄 上部に刻目	少粒を少量含む。	中津式	
第4回	AR-50-3 15	灰陶	口縁部 (波状口縫)	馬蹄駆け→馬蹄部、区画内に三井押文、馬蹄上に刻目	黒帶を少量含む。少粒を含む。	新江式	注記「AR-50-6と同一體」
第4回	AR-50-3 16	灰陶	口縁部	周文LR	黒帶を少量含む。少粒を含む。	加賀利口式	
第4回	AR-50-4 1	灰陶	口縁部 (花 手)	馬蹄駆け→馬蹄部に舟形文。口縫部から基下する兩面三 角の高い馬蹄の先端を削り落す。波状にする	黒帶を多く含む。少粒を含む。	阿云台口式	
第4回	AR-50-4 2	灰陶	口縁部 (波状口縫)	馬蹄駆け→馬蹄に沿って波形文	黒帶、少粒を含む。	阿云台口式	注記「AR-50-3-2と同一体」
第4回	AR-50-4 3	灰陶	口縁部 (平 縫)	馬蹄駆け→大きめの葉を残して馬蹄に沿って波形文	黒帶、少粒を含む。	阿云台口式	注記「AR-50-3-2と同一体」
第4回	AR-50-4 4	灰陶	肩 部	馬蹄駆け→口縫に文様帶帶内に馬蹄に沿って波形文	黒帶を多く含む。少粒を含む。	阿云台口式	注記「AR-50-6と同一體」
第4回	AR-50-4 5	灰陶	口縁部	馬蹄駆け→口縫に文様帶帶内に馬蹄に沿って波形文	黒帶を含む。少粒を多く含む。	阿云台口式	注記「AR-50-6と同一體」
第4回	AR-50-4 6	灰陶	肩 部	馬蹄駆け→馬蹄に沿って角押文	黒帶を多く含む。少粒を含む。	阿云台口式	注記「AR-50-6と同一體」
第4回	AR-50-4 7	灰陶	口縁部	馬蹄駆け→馬蹄に沿って3列の角押文	黒帶を含めて多く含む。少粒を多く含む。	阿云台口式	注記「AR-50-4-7と同一体」
第4回	AR-50-4 8	灰陶	口縁部	馬蹄駆け→馬蹄に沿って3列の角押文	黒帶を含めて多く含む。少粒を多く含む。	阿云台口式	注記「AR-50-4-7と同一体」

第3表 土器観察表(3)

図版番号	注記番号	場所	器 形	文様の基文工数の組合せ	断土	型式	備考
第4回	AR-50-1 9	埋蔵	腹 壁	圓文L1, 雷帶貼付→施帯に沿って2列の角押文	雷帶を細めて多く含む。砂粒を多く含む。	阿玉台 直~円式	
第4回	AR-50-1 10	埋蔵	口縁部	雷帶貼付→施帯に沿って2列の角押文、区画内に平行状態	雷帶、砂粒を多く含む。	阿玉台直式	注記(3)Aが見難い
第4回	AR-50-1 11	埋蔵	腹 壁	系帯文	雷帶、砂粒を含む。	阿玉台直式	注記(3)Aが見難い
第4回	AR-50-1 12	埋蔵	腹 壁	施帯、円形文貼付→施帯、円形文に沿って八形文	雷帶を多く含む。砂粒を含む。	阿玉台直式	
第4回	AR-50-1 13	埋蔵	腹 壁	雷帶貼付→施帯に沿って乳頭文、角押文	雷帶を含む。砂粒を多く含む。	阿玉台直式	注記(3)Aが見難い
第4回	AR-50-1 14	埋蔵	口縁部	雷帶貼付→施帯に沿って乳頭文、施帯上に刻目、区画内に乳頭文、波状状態	雷帶を多く含む。砂粒を多く含む。	阿玉台直式	注記(3)Aが見難い
第4回	AR-50-1 15	埋蔵	口縁部	雷帶貼付→施帯に沿って2列の角押文	雷帶を細めて多く含む。砂粒を多く含む。	阿玉台 直~円式	注記(3)Aが見難い
第4回	AR-50-1 16	埋蔵	腹 壁	雷帶貼付→施帯に沿って乳頭文、角押文	雷帶を含む。砂粒を多く含む。	阿玉台直式	注記(3)Aが見難い
第4回	AR-50-1 17	埋蔵	腹 壁	雷帶貼付→施帯に沿って波紋	雷帶、砂粒を多く含む。	阿玉台 直~浮式	注記(3)Aが見難い
第4回	AR-50-1 18	埋蔵	腹 壁	雷帶貼付→施帯上、区画内に圓文L1→区画内施帯に沿って波紋→区画内に乳頭文	雷帶を少數含む。砂粒を多く含む。	阿玉台直式	注記(3)Aが見難い
第4回	AR-50-1 19	埋蔵	口縁部(平底)	圓文L1→施帯貼付→区画内に波状状態	雷帶を含む。砂粒を多く含む。	中壺式	注記(3)Aが見難い
第4回	AR-50-1 20	埋蔵	口縁部(平底)	雷帶貼付→施帯に沿って波紋	砂粒を含む。	加賀利直式	注記(3)Aが見難い
第4回	AR-50-1 21	埋蔵	口縁部(平底)	施帯、円形文貼付→施帯、円形文施帯上に角押文 刻目による点	雷帶を少數含む。砂粒を含む。	阿玉台 直~円式	注記(3)Aが見難い
第6回	AR-50-5 2	埋蔵	口縁部(平底)	雷帶貼付→施帯に沿って2列の角押文	雷帶、砂粒を含む。	阿玉台直式	注記(3)A内19.23.
第5回	AR-50-5 3	埋蔵	口縁部(波状口縫)	雷帶貼付→施帯、施帯上、区画内に八形文	雷帶、砂粒を含む。	阿玉台直式	
第5回	AR-50-5 4	埋蔵	口縁部(波状口縫)	雷帶貼付→施帯上に乳頭文→施帯に沿って波紋、区画内に波状状態	雷帶、砂粒を多く含む。	阿玉台直式	
第5回	AR-50-5 5	埋蔵	口縁部	雷帶貼付→施帯に沿って乳頭文、波状→区画内に波紋	雷帶を含む。砂粒を多く含む。	阿玉台直式	注記(3)Aが見難い
第5回	AR-50-5 6	埋蔵	口縁部(波状口縫)	雷帶貼付、波紋下に波状状態→区画内施帯に沿って波紋(波状口縫)	雷帶、砂粒を多く含む。	阿玉台直式	注記(3)Aが見難い
第6回	AR-50-5 7	埋蔵	口縁部(波状口縫)	波紋頭から下にする施帯貼付→施帯上に刻目、区画内に波状状態を表現する波紋	砂粒を含む。	阿玉台直式	
第6回	AR-50-5 8	埋蔵	口縁部(波状口縫)	施帯貼付上に含む。全画面、圓文→区画内施帯に沿って2列の波紋	雷帶を細めて多く含む。砂粒を多く含む。	阿玉台直式	AR-50-8-14同一直体
第6回	AR-50-5 9	埋蔵	口縁部(波状口縫)	施帯貼付、波紋下に波状状態→区画内施帯に沿って波紋(波状口縫)	雷帶を含む。砂粒を多く含む。	阿玉台直式	注記(3)Aが見難い
第5回	AR-50-5 10	埋蔵	口縁部(波状口縫)	波紋外側に沿う波状の施帯、波紋頭から下にする施帯貼付→施帯上、区画内に圓文L1→施帯、区画内に平行状態	雷帶を含む。砂粒を多く含む。	阿玉台直式	注記(3)Aが見難い
第5回	AR-50-5 11	埋蔵	口縁部(波状口縫)	波紋外側に沿う波状の施帯、波紋頭から下にする施帯貼付→施帯上に圓文L1→区画内に平行状態、施帯、波紋頭施帯上に波紋	砂粒を多く含む。	阿玉台直式	注記(3)D/D下層
第5回	AR-50-5 12	埋蔵	腹 壁	雷帶貼付→施帯に沿って乳頭文	雷帶を多く含む。砂粒を含む。	阿玉台直式	
第5回	AR-50-5 13	埋蔵	腹 壁	雷帶貼付→施帯に沿って乳頭文	雷帶を含む。砂粒を少數含む。	阿玉台直式	
第5回	AR-50-5 14	埋蔵	口縁部	S字状の施帯貼付→施帯上に波紋、区画内にくねぐるような施帯を表現	砂粒を含む。	大木M式	
第5回	AR-50-5 15	埋蔵	口縁部(平底)	施帯、施帯貼付→施帯上に刻目 刻目による圓文L1→施帯下から2本1組の波状状態を沿下	雷帶、砂粒を少數含む。	加賀利直式	
第5回	AR-50-6 1	埋蔵	口縁部(波状口縫)	施帯貼付→施帯に沿って乳頭文、口縁部区画内に波状状態	雷帶、砂粒を多く含む。	阿玉台直式	
第5回	AR-50-6 2	埋蔵	口縁部	雷帶貼付→施帯上、区画内に圓文L1→区画内施帯に沿って波紋	雷帶、砂粒を多く含む。	阿玉台直式	
第5回	AR-50-6 3	埋蔵	腹 壁	雷帶貼付→施帯に沿って波状の平行状態	雷帶、砂粒を多く含む。	阿玉台 直~浮式	

第4表 土器観察表(4)

地質番号	日記番号	種別	部 位	文様の施し方 工程の様子	胎 土	形 式	備 考
第6回	AR-59-6 4	圓錐	肩 部	胎土による模様文	黒泥、砂粒を多く含む。	阿玉台四式	
第6回	AR-59-6 5	浅鉢	口縁部	胎土粘付一端等に斜面に斜面を充填	黒泥、砂粒を多く含む。	阿玉台四式～中輪式	性別(?)印(?)見落とし
第6回	AR-59-6 6	浅鉢	口縁部 (平 端)	口縁部模様下端に斜面を充填胎付一区画内に3条の比較	砂粒を多く含む。	中輪式	性別(?)印(A/18)
第6回	AR-59-6 7	深鉢	口縁部	胎土粘付一端等に6条以上の糸縄。放置部下に斜面	砂粒を多く含む。	加曾利四式	
第6回	AR-59-6 8	圓錐	口縁部 (平 端)	口縁部模様下端に斜面を充填胎付一区画内に3条の比較	黒泥を少量含む。砂粒を含む。	加曾利四式	性別(?)印(?)見落とし
第6回	AR-59-6 9	浅鉢	口縁部 (平 端)	胎土粘付一端等に内面斜面	砂粒を多く含む。	加曾利四式	
第6回	AR-59-6 10	圓錐	肩 部	胎土付一端等による区画	黒泥を少量含む。砂粒を含む。	加曾利四式	
第6回	AR-59-6 11	圓錐	肩 部	陶文RL一2本1列の比較を垂下して下した次第の模文を垂らす	黒泥を含む。砂粒を多く含む。	加曾利四式	
第6回	AR-59-6 12	圓錐	肩 部	陶文RL一端等	黒泥を少量含む。砂粒を含む。	加曾利四式	性別(?)印(?)見落とし
第6回	AR-59-6 13	深鉢	肩 部	胎土粘付(側面)一区画内に斜面を充填	黒泥を含む。砂粒を多く含む。	加曾利四式	性別(?)印(B/6)
第6回	AR-59-7 1	圓錐	肩 部	胎土粘付一端等に沿って系形、胎土上に斜面一区画内に斜状模様	黒泥を含む。砂粒を含む。	阿玉台四式	
第6回	AR-59-7 2	圓錐	肩 部	胎土粘付一端等に沿って平行比線、区画内に平行状模様	黒泥、砂粒を多く含む。	阿玉台四式	
第6回	AR-59-7 3	圓錐	底 面	胎土粘付一端等上に含め、陶文RL一端等模様、区画内に斜面	黒泥、砂粒を少量含む。	阿玉台四式	性別(?)印(H.23)
第6回	AR-59-7 4	圓錐	底 面	胎土粘付一端等に沿って平行比線、平行比線による網目模様一区画内に斜面を充填	黒泥を少量含む。砂粒を含む。	阿玉台四式	
第6回	AR-59-7 5	圓錐	口縁部 (側面口縁)	口縁部外に胎土粘付一端等側面(上部)の側近部に円形の凹み、模様部との交差部で充填	黒泥を含む。砂粒を多く含む。	阿玉台四式	AR-59-9-4と同一形
第6回	AR-59-7 6	圓錐	口縁部 (平 端)	陶文RL一端等による区画、模様文一端等に沿って状模	砂粒を多く含む。	加曾利四式	
第6回	AR-59-7 7	圓錐	口縁部	陶文RL一端等に斜面、模様文一端等に沿って状模一区画内に斜面充填、模様部に斜面	黒泥を少量含む。砂粒を含む。	加曾利四式	
第6回	AR-59-7 8	圓錐	口縁部 (平 端)	陶文RL一端等による区画一端等に沿って状模	黒泥を少量含む。砂粒を含む。	加曾利四式	
第6回	AR-59-7 9	圓錐	口縁部 (平 端)	陶文RL一端等の交叉状模、IRが顕著化した3本1列の波状比線	黒泥を少量含む。砂粒を含む。	速伝文	
第6回	AR-59-7 10	圓錐	内面の交叉状模	黒泥を少量含む。砂粒を含む。	速伝文	性別(?)印(H.23)	
第6回	AR-59-7 11	圓錐	口縁部 (平 端)	胎土粘付一端等下端に斜面による斜面(平斜面)	黒泥、砂粒を少量含む。	中輪式～ 加曾利四式	性別(?)印(?)見落とし
第6回	AR-59-7 12	圓錐	口縁部 (平 端)	胎土粘付一端等に沿って円形の交叉状模	黒泥を少量含む。砂粒を含む。	加曾利四式	
第6回	AR-59-7 13	圓錐	肩 部	陶文RL一端等に2本1列の比較を垂下して下した次第の模文を垂らす	黒泥を少量含む。砂粒を含む。	加曾利四式	
第6回	AR-59-7 14	圓錐	肩 部	胎土粘付一端等上に斜面による斜面一区画内に斜面を充填一端等に斜面	黒泥を少量含む。砂粒を含む。	加曾利四式	
第6回	AR-59-7 15	圓錐	口縁部 (平 端)	胎土粘付一端等上に斜面による斜面一区画内に斜面を充填一端等に斜面	黒泥を含む。砂粒を多く含む。	加曾利四式	
第6回	AR-59-7 16	圓錐	肩 部	陶文RL一端等の比較を垂下して下した次第の模文を垂らす	黒泥を少量含む。砂粒を含む。	加曾利四式	
第6回	AR-59-7 17	圓錐	口縁部	区画内に斜面を充填口縁内面に斜面	黒泥を少量含む。砂粒を多く含む。	加曾利四式	性別(?)印(?)見落とし
第6回	AR-59-7 18	浅鉢	口縁部 (平 端)	模文、外面の一側に參照痕が現る	黒泥を少量含む。砂粒を含む。	加曾利四式	
第6回	AR-59-7 19	圓錐	口縁部 (把 手)	模文、表面模様の反対側付一端等に斜面によって充填模式一区画内に斜面	黒泥、砂粒を多く含む。	阿玉台四式	性別(?)印(?)見落とし
第6回	AR-59-8 2	圓錐	口縁部 (把 手)	模文手把上面に2列の者無比線がめぐら	黒泥を傾けて多く含む。砂粒、小砾を多く含む。	阿玉台四式	

第5表 土器観察表(5)

記号番号	出発番号	種別	部 位	文様の施文工程の類型	胎 土	形 式	備 考
第6回	AR-59-8 9	直鉢	口縁部 (把 手)	環状手形 上部に2列の有茎花文、表面に刻目	黒泥を極めて多く含む。砂粒、小砾を多く含む。	阿玉台1式	直鉢ゴム印「荒穂文」
第6回	AR-59-8 4	直鉢	口縁部 (底付口縁)	口縁に沿って施文貼付→口唇部に刻目	黒泥を極めて多く含む。砂粒を多く含む。	阿玉台2式	直鉢ゴム印「荒穂文」
第6回	AR-59-8 5	直鉢	口縁部 (底付口縁)	施文貼付→端部に沿って2列の瓜棱文	安土、砂粒を多く含む。	阿玉台3式	直鉢ゴム印「荒穂文」
第6回	AR-59-8 6	直鉢	口縁部 (底付口縁)	施文貼付→端部に沿って系帯文	黒泥、砂粒を多く含む。	阿玉台4式	直鉢ゴム印「荒穂文」
第6回	AR-59-8 7	直鉢	口縁部 (底付口縁)	施文貼付→端部に沿って系帯文→区画内に施文→底付	黒泥を少許含む。砂粒を多く含む。	阿玉台5式	
第6回	AR-59-8 8	直鉢	口縁部 (底付口縁)	施文貼付→端部に沿って系帯文→区画内に施文→底付	安土、砂粒を含む。	阿玉台6式	
第6回	AR-59-8 9	直鉢	口縁部 (底付口縁)	口縁に施文→区画内に施文→底付	黒泥、砂粒を多く含む。	阿玉台7式	直鉢ゴム印「荒穂文」
第6回	AR-59-8 10	直鉢	口縁部 (底付口縁)	施文貼付→端部に沿って系帯文→区画内に施文、底付	黒泥、砂粒を多く含む。	阿玉台8式	直鉢ゴム印「荒穂文」
第6回	AR-59-8 11	直鉢	口縁部 (底付口縁)	施文貼付→端部に沿って系帯文→区画内に施文→底付	安土、砂粒を多く含む。	阿玉台9式	直鉢ゴム印「荒穂文」
第6回	AR-59-8 12	直鉢	口縁部 (底付口縁)	施文貼付→端部に沿って系帯文→区画内に施文→底付	黒泥を多く含む。砂粒を含む。	阿玉台10式	直鉢ゴム印「荒穂文」
第7回	AR-59-8 13	直鉢	口縁部 (平 縫)	施文貼付→端部に沿って系帯文→区画内に施文→底付	黒泥、砂粒を多く含む。	阿玉台11式	直鉢ゴム印「荒穂文」
第7回	AR-59-8 14	直鉢	口縁部 (底付口縁)	施文貼付→端部に沿って系帯文→区画内に施文→底付	安土、砂粒を多く含む。	阿玉台12式	直鉢ゴム印「荒穂文」
第7回	AR-59-8 15	直鉢	口縁部 (平 縫)	施文貼付→端部に沿って系帯文→区画内に施文→底付	黒泥を多く含む。砂粒を含む。	阿玉台13式	直鉢ゴム印「荒穂文」
第7回	AR-59-8 16	直鉢	口縁部 (平 縫)	施文貼付→端部に沿って系帯文→区画内に施文→底付	黒泥、砂粒を多く含む。	中鉢式	直鉢ゴム印「荒穂文」
第7回	AR-59-8 17	直鉢	口縁部 (平 縫)	施文貼付→端部に沿って系帯文→区画内に施文→底付	黒泥、砂粒を多く含む。	阿玉台14式	直鉢ゴム印「荒穂文」
第7回	AR-59-8 18	直鉢	口縁部 (平 縫)	口縁内面に沿って施文→施文貼付→区画内に施文	黒泥を含む。砂粒を多く含む。	阿玉台15式	直鉢ゴム印「荒穂文」
第7回	AR-59-8 19	直鉢	口縁部 (平 縫)	口縁外面に沿って施文貼付→区画内に施文	黒泥を含む。砂粒を多く含む。	阿玉台16式	直鉢ゴム印「荒穂文」
第7回	AR-59-8 20	直鉢	口縁部 (平 縫)	口縁外面に沿って施文貼付→区画内に施文	黒泥、砂粒を多く含む。	阿玉台17式	直鉢ゴム印「荒穂文」
第7回	AR-59-8 21	直鉢	口縁部 (平 縫)	施文貼付→端部に沿って施文→区画内に施文、表面に刻目	黒泥、砂粒を多く含む。	阿玉台18式	直鉢ゴム印「荒穂文」
第7回	AR-59-8 1	直鉢	口縁部 (底付口縁)	口縁外面に沿って施文貼付→端部に沿って系帯文→底付	黒泥を含む。砂粒を多く含む。	阿玉台19式	
第7回	AR-59-8 2	直鉢	口縁部 (底付口縁)	口縁外面に沿って施文貼付→端部に沿って系帯文→区画内に施文、表面に刻目	黒泥を含む。砂粒を多く含む。	阿玉台20式	
第7回	AR-59-8 3	直鉢	口 筒	施文貼付→端部に沿って施文→区画内に施文、表面に刻目	黒泥を含む。砂粒を多く含む。	阿玉台21式	
第7回	AR-59-8 4	直鉢	口縁部 (底付口縁)	口縁外面に沿って施文貼付→端部に沿って系帯文→区画内に施文による唐草文、底付表面に刻目で施文	黒泥を含む。砂粒を多く含む。	阿玉台22式	AR-59-7-8と同一個体 直鉢ゴム印「荒穂文」
第7回	AR-59-8 5	直鉢	口 筒	口縁外面に沿って施文貼付→端部に沿って系帯文→区画内に施文による唐草文、底付表面に刻目で施文	黒泥を含む。	連弘文	
第7回	AR-59-8 6	直鉢	口 筒	口縁外面に沿って施文貼付→端部に沿って系帯文→区画内に施文による唐草文、底付表面に刻目で施文	砂粒を少許含む。	連智利1式	
第7回	AR-59-8 7	直鉢	口 筒	施文貼付→口縁部に沿って施文→区画内に施文、表面に刻目	黒泥を少許含む。砂粒を含む。	連智利2式	直智利マジック泡足盤近く (個人名) 楽樂 0.31
第7回	AR-59-8 8	直鉢	口 筒	施文貼付→口縁部に沿って施文→区画内に施文、表面に刻目で施文	砂粒を含む。	連智利3式	
第7回	AR-59-8 9	直鉢	口 筒	口縁部の字に沿うする施文貼付→口縁部に沿って施文→区画内に施文、表面に刻目で施文	黒泥を少許含む。砂粒を多く含む。	加智利1式	
第7回	AR-59-8 10	直鉢	口 筒	口縁部の字に沿うする施文貼付→口縁部に沿って施文→区画内に施文、表面に刻目で施文	黒泥を少許含む。砂粒を多く含む。	加智利2式	
第7回	AR-59-8 11	直鉢	口 筒	大形把手中央に向かい対応する施文貼付→端部に沿って瓜棱文による唐草文、三文文、施文貼付→底付間に瓜棱文	黒泥を少許含む。砂粒を多く含む。	藤山1式	直藤山ゴム印「荒穂文」

第6表 土器観察表(6)

調査番号	注記番号	種別	部位	文様の筆文工程の概要	胎土	焼式	備考
第8回	AR-50-10 2	陶片	口縁部 (平 縫)	幾文XLR→施すによる区隔、二方に實施する横状凹下の貼付 →施すに沿って沈縫、施すの表面三方に施すに上る施唇を以て	砂粒を含む。	加賀利田式	
第8回	AR-50-10 3	陶片	口縁部	幾文XLR→施すによる区隔、施唇を文→施唇に沿って幅広の火口 引付	砂粒を少量含む。	加賀利田式	
第8回	AR-50-10 4	陶片	口縁~腹部 (平 縫)	幾文XLR→火口部に円肩の交差痕、腹部に2本1列の沈縫と 底下→口縁部に施すによる区隔、底下した火口部の幾文XLR 引付	砂粒を含む。	加賀利田式	
第8回	AR-50-11 1	陶片	口縁~腹部 (斜状口縫)	施唇→S本1列の沈縫、3本1列×2段の沈縫による施縫文	砂粒を含む。	達賴文	佐世子山印行「荒川敷」
第8回	AR-50-11 2	陶片	口縁部 (斜状口縫)	幾文XLR→底面に火口部による施唇を→2本1列の沈縫を底下 →底下した火口部の幾文XLRを押り出す	砂粒を含む。	加賀利田式	
第8回	AR-50-11 3	陶片	腹 部	幾文XLR→S本1列、2本1列の沈縫を底下	砂粒を少量含む。	加賀利田式	佐世子山印行「荒川敷」
第8回	AR-50-11 4	陶片	腹 部	幾文XLR	砂粒を含む。	加賀利田式	
第8回	AR-50-12 1	陶片	腹 部	施唇貼付→区間に条縫光模→施唇に沿って沈縫→区間に 底付施唇	重ねを含む、砂粒を多く含む。	阿玉台印式	
第8回	AR-50-12 2	陶片	腹 部	施唇貼付→施唇上を含め、幾文XLR→施唇に沿って2列の平行 施縫	重ねを含む、砂粒を含む。	阿玉台印式	佐世子山印行「荒川敷」
第8回	AR-50-12 3	陶片	腹 部	施唇貼付→施唇上を含め、幾文XLR→施唇に沿って平行な施縫	重ね、砂粒を含む。	阿玉台印式	佐世子山印行「荒川敷」D/13j、 佐世子山印行「38.4.16 D/13j」
第8回	AR-50-12 4	陶片	腹 部	LR幾文→沈縫	重ね、砂粒を多く含む。	阿玉台印式	
第8回	AR-50-12 5	陶片	腹 部	幾文XLR→2本1列の施唇貼付→施唇に沿って沈縫→区間に 底付施縫、腹部に2本1列の施縫を底下	重ねを含む、砂粒を多く含む。	加賀利田式	
第8回	AR-50-12 6	陶片	腹 部	施縫による施縫剥離→区間に内施縫光模	重ねを少量含む、砂粒を多く含む。	藤内式	佐世子山印行「38.4.16 A/23」
第8回	AR-50-12 7	陶片	腹 部	施縫による施縫剥離→区間に内施縫光模、施縫による三文 文	砂粒を多く含む。	藤内式	佐世子山印行「荒川敷」
第8回	AR-50-12 8	陶片	口縁部 (平 縫)	幾文XLRか? (施縫剥離) →絞り、施唇を貼付	重ねを少量含む、砂粒を多く含む。	大木B式	
第8回	AR-50-12 9	陶片	口縁部 (平 縫)	幾文XLR→施すによる区隔、施唇を文→施縫に沿って沈縫	重ねを少量含む、砂粒を多く含む。	大木Bb~B式	
第8回	AR-50-12 10	陶片	口縁部	施縫による施唇を文→施縫に沿って沈縫	重ねを少量含む、砂粒を多く含む。	大木Bb~B式	
第8回	AR-50-12 11	陶片	口縁部	施縫による施唇を文→施縫に沿って沈縫	重ねを少量含む、砂粒を多く含む。	大木Bb~B式	
第8回	AR-50-12 12	陶片	口縁部	施縫による施唇を文→幾文XLR、丸填	砂粒を多く含む。	大木B式	
第8回	AR-50-12 13	陶片	口縁部	施縫による施唇を文→施縫、施縫光模	砂粒を多く含む。	大木BbA	